

平成30年度GEF産学共創パートナーシップ第3回研究会を開催いたしました。



去る11月21日水曜日、平成30年度第3回研究会を、京都大学東京オフィスの会議室にて行いました。

○平成30年度第3回研究会

① バイオエコノミーの最新動向について

講演者: 京都大学エネルギー理工学研究所
特任教授 柴田 大輔

② 日本のロボットファームの可能性

講演者: 京都大学農学研究科地域環境科学専攻
フィールドロボティクス分野
教授 飯田 訓久

③ 有用成分の探索による産業開拓へ向けたメタボローム解析の応用

講演者: 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
国立遺伝学研究所
特任准教授 櫻井 望

開会式では、京都大学木津農場の中崎先生よりご挨拶を頂きました。柴田先生からは、バイオエコノミーの最新動向についてご説明を頂きました。

飯田先生のご講演では、農業ロボットの紹介が行われ今後の展開についてお話いただきました。櫻井先生のご講演では、食品メタボロームレポジトリのご紹介を受け、食品・農業分野での活用についてご意見をいただきました。会員のみなさまや先生方から多くのご質問やご意見をいただきました。飯田先生、櫻井先生、その他先生方、会員のみなさま、お忙しいところお越しくださいましてありがとうございました。